

## 第2回 テーマ研修

### 研修テーマ

学習者主体の授業による自ら学ぶ児童の育成  
～子供の事実を基にした省察を通して～

### 運営テーマ

指導観・研修観の転換をとおした、  
同僚性・ウェルビーイングを高める校内研修の在り方

【日時】 令和8年 4月 21日(火) 15:40～16:45

【場所】 理科室

#### 【内容】

I 目指す児童の姿・共通実践事項の検討	15:40～15:55 (15)
II 個人のゴールの設定	15:55～16:00 (5)
III 一人1授業の日程の確認	16:00～16:05 (5)
IV 授業研究の流れ	16:05～16:10 (5)
V 6月2日(火)・30日(火)の授業検討	16:10～16:35 (25)
VI ふり返り	16:35～16:40 (5)
VII 校長指導	16:40～16:45 (5)

#### 【準備する物】

- ・ 筆記用具
- ・ タブレット(当日資料配布を行う予定です)

#### 学びの継続

- ☆ 学習者主体の授業の手立て
- ☆ 今年の自分の研究テーマ  
を考えてみましょう。

#### 参考資料

- 学びの羅針盤(R8.3月)
- 南北600キロの教育～へき地・複式教育の手引き～
- 令和7年度 短期研修資料「研修観を転換し、校内研修を充実!校内研修マインドチェンジ講座」(高谷先生)

## みんなで 学びを進める 大切なルール

### ① 互いの価値観や経験、思いを聞き合う。

共感的に聞きながら、印象に残った言葉を伝え、疑問に思ったことは相手に「問い」として返す。

### ② 互いの「違い」を楽しむ

相手の意見を否定したり、相手の思いに「べき」論で返したりせず、違いがあることがあることを当然として、違いの中身を楽しみながら協議する。

→自分と違う視点を知ることは、自分の学びにつながる。

### ③ サポートできることを大切にする。

自分の学びを進めるだけでなく、共に学びを創る一員として、自分ができるサポートを見つけながら協議する。

## I 目指す児童の姿・共通実践事項の検討

授業

- ・ 子供それぞれの興味・関心や学習進度に応じた授業
- ・ 子供が解決の方法を自分なりに選択・判断する授業
- ・ 子供が自分の学びを振り返り、次に生かしていこうとする授業

子供の姿

- ・ 意図をもって、主体的に課題に取り組む姿
- ・ 一人一人が自分の課題解決に向けて、試行錯誤を繰り返し、学びを調整する姿
- ・ 協働してものや考えを創り出す姿

### I 目指す児童の姿

A チーム	B チーム
自ら問いを発見できる児童。	意図を持って主体的に課題的に取り組む姿
学びに向かう児童。	全員参加の授業
自己選択、自己解決できる児童。	自ら学ぶ力を身につける。
自分の言葉で伝えられる。	協働してものや考えをつくり出す姿
	試行錯誤するべきポイントが分かる

下小の実態・課題から



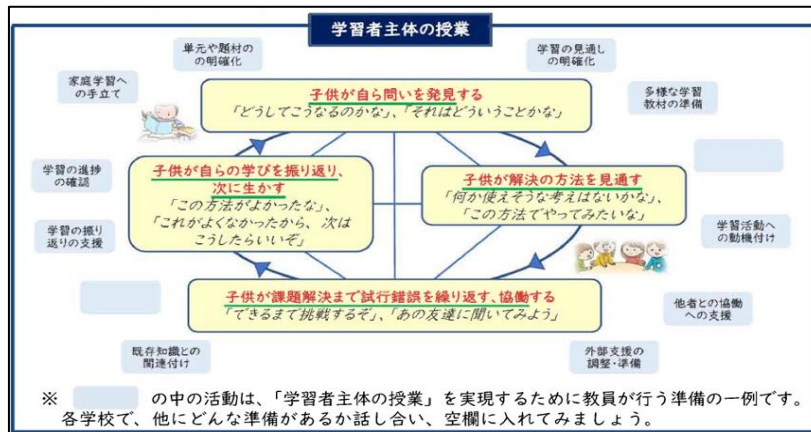
## 2 学習者主体の授業について

A チーム	B チーム
生活と関係させて、問いをもってくる。	学習計画を児童の思いを入れながらたてる
課題から、めあてを子供の言葉から作る。	全体のめあて 個人のめあてをたてる
授業の流れをパターン化する。	振り返りの視点をしっかりと最初から教える
学習方法を提示する。	教師は任せる・見守る姿勢
時間を考えさせる。	グループ学習の進め方話型が必要→児童の 思いで変えていくのはあり。
	めあての焦点化からまとめまでを自分たちで 行わせる。
	一言ずつ発表させる時間を確保する。
	問い→正解と思わせないような発問 問い→自分の意見が言えればはなまる!

### 子供が自ら問いを発見するための手立て

### 次に生かすための 手立て

### 見通すための 手立て



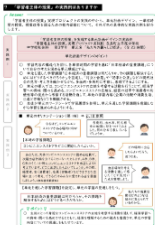
### 協働するための手立て

## II 個人のゴールの設定 (ロイロ→共有ノート) 次回 ( 月 日報告会)

4・5月 学習者主体の授業による自ら学ぶ児童の育成  
～子供の事実を基にした省察を通して～

個人内テーマ  
例) 学習者主体・複式教育・ガイド学習・学習規律・環境設定・・・  
→ 児童に委ねる時間を25分確保する。ガイド学習を取り入れる。

実践・手立て・調べたことなど



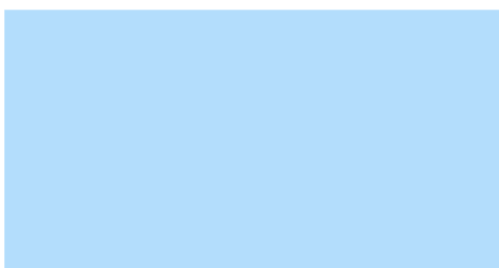
学習課題の工夫  
単元構成の工夫  
による学習意欲・  
学習者主体の実現

成果



ガイドの育成の仕  
方やガイド学習の  
在り方について理  
解し、実践する。

課題



赤のシートに、個人内ゴールを設定しましょう。

自分が興味を持ったことやさらにレベルアップしたいことなど、主体的に取り組める課題を見つけましょう。

## III 一人1授業の日程の確認

	月	日	曜日	校時	学年	教科	指導者
1	5	6					
2	6	2	火	5	6	算数	橋口先生
研修	6	2	火	L	授業研究① ※1と2の分		
3	6	30	火	5	1	算数	中尾先生
研修	6	30	火	L	授業研究② ※3の分。講師招聘		
4	9	10					
5	10	6	火	5			
研修	10	6	火	L	授業研究③ ※4と5の分		
6							
研修	11	6	金	S	授業研究④ ※6の分		
7	11						
8	12	1	火	5			
研修	12	1	火	L	授業研究⑤ ※7と8の分		

## IV 授業研究の流れ

### 1 授業前に、本時における**目指す子供の姿**及びそのための**手立てを確認**する。

#### 【本時で目指す児童生徒の姿】

- 1 児童が課題・めあて・道具・活動・解決方法・学習時間・学習形態などを自ら選択し、自己調整しながら学びを深める姿
- 2 児童が進んで「聴き合い」、課題を解決するとともに、自分に必要な情報を「学び」としてノートやタブレットに残そうとする姿
- 3 児童が学びの成果を互いに交流し、振り返ることで学びをつなげようとする姿

この二つがリンクしているか、指導案検討の際にしっかり確認しましょう。



#### 【目指す児童生徒の姿への手立て】

- 1 児童が学習の見通しをもてるように、教師からマイプランを提示し、自らのプランを立てたり、相手・場所・方法等を選択したりすることで学びに向かう姿勢を高める。また、自らの学びを選択させることで成果や課題に対する関心を高め、自己調整力が高まるようにする。
- 2 個に応じた学びが展開されるように、「マイプランで進めよう」を提示し、座席の配置や課題等を工夫して協働的な学びにつながるような環境を設定する。また、学びを分かりやすく伝えるために、「学びを深めるマイノート」に取り組ませることで、他者との学びが深まったり・つながったりしやすくする。
- 3 ガイドを中心とした学習展開において、学びの成果を交流させることで新たな考えに気付いたり、自分の進捗状況を把握したりする機会を設定する。

### 2 授業における児童の姿を観察し、**事実のみ**を記録する。

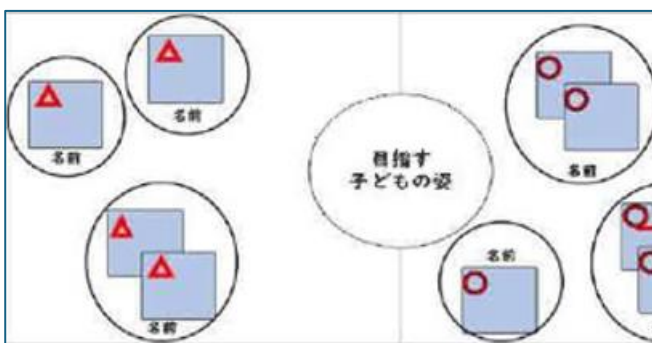
#### NGワードとは？

- ① ~だったと思う
- ② ○○のように見えた
- ③ 先生は、Aすべきだったのに...
- ④ これは面白いと思った
- ⑤ 非常にすばらしいことに...
- ⑥ 楽しそうに...

#### 事実のみを記録

- ・ 生徒が~していた
- ・ 教師が○○と発言した
- ・ 図を使って生徒が説明をした
- ・ 机間指導で声をかけた
- ・ まとめて自分たちの言葉で文章を書かせた

### 3 観察した事実を、目指す姿に迫れているもの(○)、そうでないもの(△)に分類し、グループングする。



展望シート	
△の子供の姿に付けた名前	左の場面の子供の姿(付箋) *展望の根拠となる子供の事実を残しておきましょう
アイデア	
・ ここには、課題解決に向けたアイデアを箇条書きで記しましょう	
短期的 上記のアイデアを具体化し、ここには、明日から取り組みそうなことを記しましょう	長期的 上記のアイデアを具体化し、ここには、学年レベル、学校レベルで組織的かつ長期的に取り組んでいくことを記しましょう

### 4 子供の姿の分析から展望を導く。

- (1) △をつけたグループから1つ抽出し、なぜそうなったのかを**子供の目線で解釈**し、それを解決するためのアイデアを出し合う。それらをもとに、短期的・長期的に取り組めそうなことを決める。
- (2) 各グループの展望を共有する。
- (3) 共有した展望から、全体で取り組むことや個人で取り組むことを決め、振り返る。

V 6月2日(火)・30日(火)の授業検討

I 授業前に、本時における **目指す子供の姿** 及びそのための **手立てを確認する。**

目指す子供の姿

--



手立て


VII 校長指導

--

